

# ホワイトプラネットの住人 タテゴトアザラシ (前編) Harp seal in the White Planet

WEB-LUE White Version  
Renewal Special

カナダ・マドレーヌ島の沖合に毎年やってくる流水群。  
その白い氷上では、たくさんのタテゴトアザラシが出産し、  
子育てを行っている。  
タテゴトアザラシの赤ちゃんは毎日ミルクを飲み  
昼寝を繰り返してどんどん成長する。  
約3週間という、とても短い子育てだが、  
それは愛情いっぱいの幸せな時間だった。

お乳を飲んだ後、氷の狭間で無防備に寝る赤ちゃんアザラシとそれを見守る母アザラシ

Phot&Text **Yasuaki Kagii**  
Web-lue 2007. Spring

Information Link  関連情報HPへ  
<http://www.kagii.jp/>

# ホワイトプラネットの住人 タテゴトアザラシ

*Harp seal  
in  
the White Planet*

## いつもとは違った 海の世界を眺める

窓の下には初めて見る流氷が広がっている。

私は食い入るように、その光景を眺めていた。

一刻も早く、自分の目でタテゴトアザラシを確認したかったからだ。

と、前方にひとつ、またひとつと黒い影が見えてきた。

ホントにこんな所にいるんだ！

タテゴトアザラシのコロニーを見つけたヘリコプターは、

ゆっくりとその流氷の上に着陸する。

流氷に降り立つと、なんと百何十頭というアザラシの親子に

私たちは囲まれていた。

お乳を飲んだ後、氷の狭間で無防備に寝る赤ちゃんアザラシとそれを見守る母アザラシ

**WEB-LUE White Version Renewal Special**

**Web-lue 2007. Spring**

Information Link  <http://www.kagii.jp/>  関連情報HPへ

©WEB-LUE ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

# ホワイトプラネットの住人 タテゴトアザラシ

*Harp seal  
in  
the White Planet*



母アザラシを探して、移動を続けるタテゴトアザラシの赤ちゃん

カナダのマドレーヌ島の沖合いでは、2月下旬、タテゴトアザラシがいっせいに出産し、短い子育ての時期を迎える。そのタテゴトアザラシの赤ちゃんをウォッチングする観光ツアーがあって、うれしいことに誰でも簡単に厳寒の氷上に遊ぶかわいいタテゴトアザラシの赤ちゃんを見に行くことができるのだ。ピーンと張り詰めた冷たい空気の中、アザラシの赤ちゃんの叫ぶような鳴き声が途切れることなく聞こえてくる。氷上の一帯だけが、圧倒的な生命の息吹に満ち溢れていた。泣き声をよく聞いていると、人間の赤ちゃんにも聞こえてきたので、少し妙な気分になってくる。

すごいところへ来てしまった。カメラの三脚をステッキ代わりに使い、氷の上をコツコツと叩きながら前に進んで行く。今年は温暖化の影響なのか、氷の張りが薄いそうだ。足元に

気をつけながら、近くに見つけたアザラシの赤ちゃんに近づいて行った。

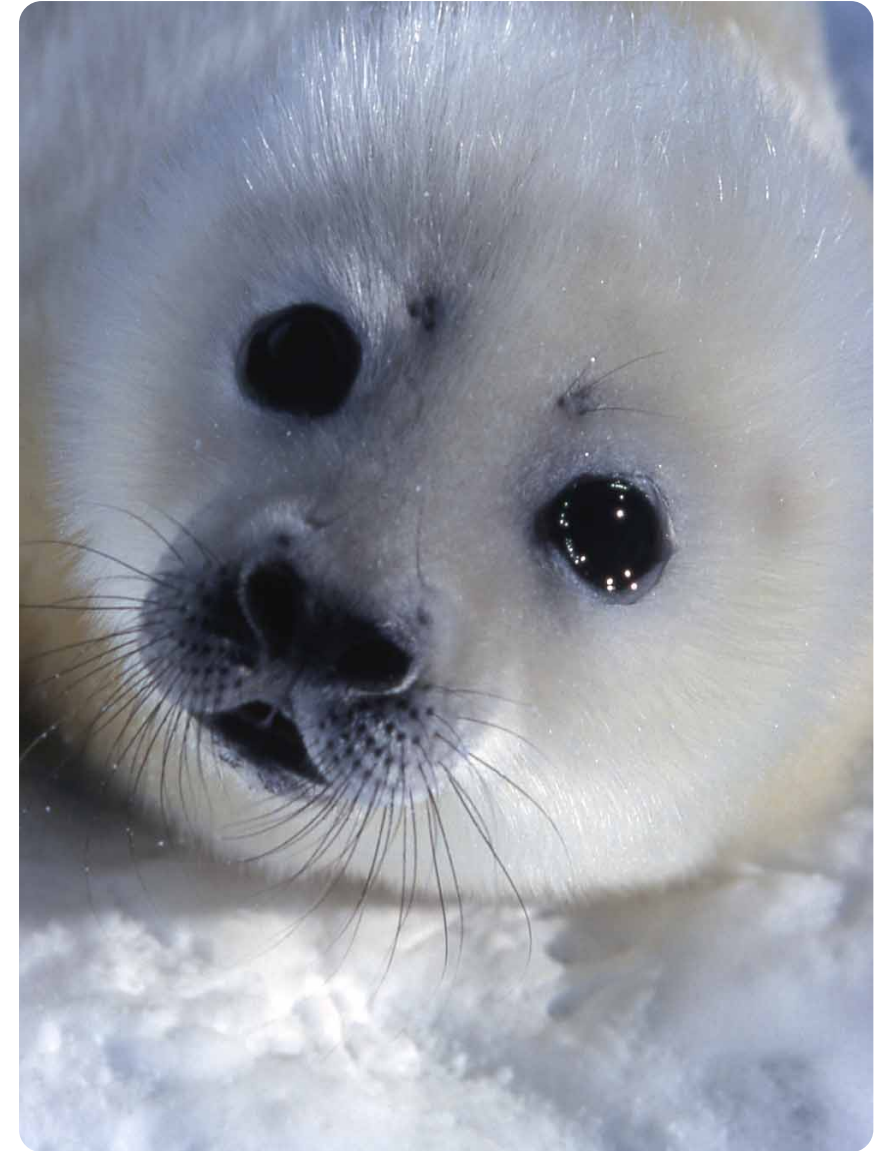
最初は少し距離をおいて腰を下ろした。すると生まれたての「イエローコート」と呼ばれる、少しクリーム色をしたその赤ちゃんが、まるで「あなたはお母さんなの」と、問いかけるように、メーメーと鳴きながら私の方に向かってきた。胸ヒレを前後に動かし、体全体で前進する。その動きは想像以上に早い。あまりの予想外の展開に、私は面を食らい、赤ちゃんが目の前まで近づいた時には、不覚にも後ずさりしていた。なんてことだ。

それでも少し気を取り直し、「私はあなたのお母さんでもないし、男だからやっぱりお乳はあげられない、ゴメンね」と、語りながら、撮影を続けた。

氷上の寒さは感じなかった。

僕はお母さんじゃないよ!!

涙を流しているタテゴトアザラシの赤ちゃんに出会うこともある



**WEB-LUE White Version Renewal Special**

**Web-lue 2007. Spring**

Information Link  <http://www.kagii.jp/>  関連情報HPへ



かわいさと

フィルムの消費の正比例



わんぱく坊主が空を見ながら寝そべっているようだった

何頭かの赤ちゃんを撮影していくと、1頭1頭、赤ちゃんの顔が違うことに気がついてきた。タテゴトアザラシを撮影した経験のあるカメラマンは、かわいい赤ちゃんを見つけて撮影する事、とアドバイスしてくれたが、私にはどの赤ちゃんもとてもかわいく映り、特にその表情の豊かさや仕草は、消費するフィルムの数などを忘れさせてくれた。

ホワイトプラネットの住人  
タテゴトアザラシ

*Karfp seal  
in  
the White Planet*

WEB-LUE White Version Renewal Special

Web-lue 2007. Spring

Information Link  関連情報HPへ  
<http://www.kagii.jp/>



かわいくて……

かわいくて……

お持ち帰りしたくなる……

ホワイトプラネットの住人

*Carp seal  
in  
the White Planet*

**WEB-LUE White Version Renewal Special**

**Web-lue 2007. Spring**

 Information Link  関連情報HPへ  
<http://www.kagii.jp/>



眠っていると思えば近づいてみると……

静かに目を開けた

氷原で  
小さな「命」に  
見つめられる



初日の撮影を終え、ホテルに着くと、私はひどく疲れていることに気が付いた。実際、今まで出会った野生動物とはまるで違った彼らの行動に私はとても困惑していた。

かつてオーストラリアの撮影旅行中、野生のイルカがビーチまでやってくるという有名な場所に出掛

けた。毎朝、イルカは同じ時間にやってくるのだが、レンジャーが与える餌が欲しいために、ペットのように振舞うイルカの姿に、私は撮影意欲を全く失い、そこで3日間も無駄に過ごしたことがあった。

しかし、今日出会った彼らは違う。まさしく野生の動物だ。現に、私の顔を見るなりこの世で一番怖いものを見たかのように驚き、尻尾を振って一目散に逃げ出したアザラシの赤ちゃんもいた。そして何よりも彼らの目は、あの覇気を感じられないイルカの目とは全く異なっていた。マイナス10度を越す厳寒の地で純粋に何かを求めて向かってくる瞳を、私はただ、「かわいい」という言葉だけで表現してしまうことはできなかった。きっと彼らを通して、「命」というものを見つめ直していたのかもしれない。ひどく脳裏に焼きついている。(次号に続く)

## ホワイトプラネットの住人 タテゴトアザラシ

*Karfy seal  
in  
the White Planet*

→to be Continued 2007Summer!!  
Web-lue 2007. Spring

Information Link  <http://www.kagii.jp/> 